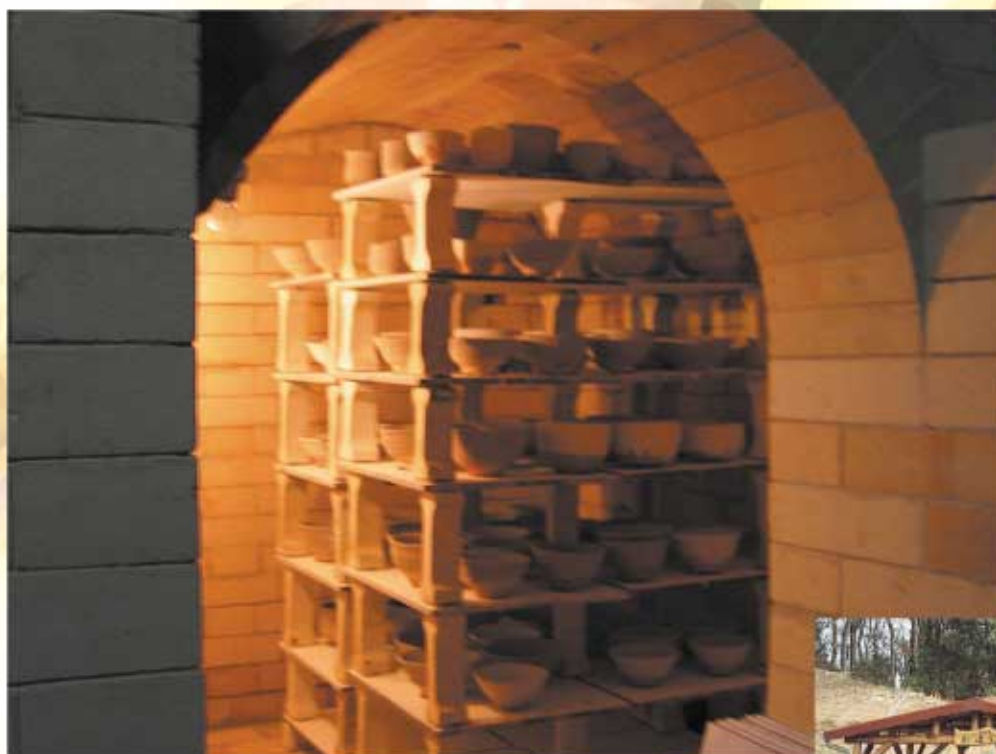


COSMORAMA

2003 March

66



窯焚き窯「創造窯」





Interview

座談会

やりがいのあった資格受験 合格までのみちのり

中條 外国語学部の中條です。私は大学に入学する以前から旅行業界に興味を持っていて、3年になって就職を考えたとき、資格があればいいなと思ったこと、人より秀でたものをもっていたと思っていました。それで一般旅行業取扱主任者の試験にチャレンジし、一般と国内の2つの試験に合格しました。企業に自分を売り込むときに、語学力+αという形でPRできるので、資格をとれたことは嬉しく思います。

河津 3年になって就職を考え、いま何ができるかと思いい、外国語を活かした貿易関係の仕事に関心を持ちました。そのとき、ちょうど通関士の資格講座が開講されており、資格をとろうと思いましたが、自分自身や就職に自信がなく、

本学の資格講座は専門学校とは違い、これまでみなさんが大学教育を受けてきて、修得した学問を実社会で活かせる道具になるために資格講座を用意してあります。今日はそれをどのように活用してきたかを合格者のみなさんからうかがいたいと思います。

金もうけだけではなく、何かアルバイトをとおしてプラスになるような資格と思い、販売士の資格取得をめざしました。

座で、実際に受講して見事、資格試験に合格したみなさんにお集まり願いました。これから受講してみようという学生のみさんの参考になればと思いい、合格者のみなさんの意見や感想をうかがうことにしました。どうぞよろしく願います。

河津 売記さん 外国語学部中国語学科3年 (通関士)
中條 美和さん 外国語学部英米語学科3年 (一般旅行業)
櫻木 浩昭さん 経済学部政策学科3年 (販売士)
司会 三枝 有 キャリアセンター長 (経済学部教授)

PROFILE



COSMORAMA
MARCH 2003 66

CONTENTS

Interview

- 1 座談会
やりがいのあった資格受験 合格までのみちのり
- 2 尾張瀬戸駅前ビルと
大学コンソーシアム構想について
- 3 今思うこと
～私にすべてを与えてくれた名古屋学院大学～
今村 高大
- 4 ハンガリーウォッチング
～ハンガリーの高校について～
浅野 涼子
- 5 こんにちはマイルポストです 川崎 綾子

Topics

- 6 シリーズ⑩ エッセイ
現代に生きる幸せ 山田 希

Essay

- 7 私の講義日誌 葛井 義憲
- 8 聖書と教室
名前の由来シリーズ③ 万有館と不尽館
「第2回学生実態調査報告書」が完成
- 9 サークル短信 体育会「ラグビー部」
チャペルのかたすみで⑧ イースターについて
- 10 シティーカレッジ2003案内
新たな短期留学提携校
- 11 2002年度課外活動報告/2002本学の動き

Campus Now

- 12 梶原寿教授が最終講義
2002年度父母会卒業記念事業
「登り窯」の設置について
学位記授与式で11名に学長表彰
2003年度父母懇談会開催ご案内
大学歌CDを作成
2003年度資格講座案内
英語・中国語スピーチコンテスト入賞者
学生論文コンクール入賞者
ホームページをリニューアル
行事予定 4～5月

Information

- 12 梶原寿教授が最終講義
2002年度父母会卒業記念事業
「登り窯」の設置について
学位記授与式で11名に学長表彰
2003年度父母懇談会開催ご案内
大学歌CDを作成
2003年度資格講座案内
英語・中国語スピーチコンテスト入賞者
学生論文コンクール入賞者
ホームページをリニューアル
行事予定 4～5月

COSMORAMA (コズモラマ) の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS (コスモス) と PANORAMA (パノラマ) との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

Owari Seto Station & University Consortium design

駅前ビルコンセプト

市民の賑わいの拠点
市民の交流の拠点
市民の学習活動の拠点

各フロアの予定

- 6 階：カフェテラス
- 5 階：アリーナ／フィットネスジム
- 4 階：大学コンソーシアム／マルチメディアルーム
- 3 階：交流広場・情報ライブラリー／国際センターなど
- 2 階：商業店舗
- 1 階：商業店舗／観光センター／市民プラザ／駅前広場
- 地下：駐車場（地下1・2階）

建設スケジュール

2003年度着工、2004年度完成

面積等

延べ面積：13,300㎡



尾張瀬戸駅前ビル予想図

尾張瀬戸駅前ビルと 大学コンソーシアム 構想について

大学コンソーシアム参加大学：名古屋学院大学/
南山大学/金城学院大学/愛知工業大学/
名古屋産業大学/中部大学/愛知学院大学

主要検討事項

大学共同イベント：大学間共同イベントや学園祭を開催し、駅前ビルの賑わいの創出。

エクステンションセミナー：各大学のエクステンションセミナー（公開講座）や大学共同のエクステンションセミナーの企画・開催。

図書館連携：各大学図書館および瀬戸市立図書館の連携を図り、駅前ビルにおいて貸出・返却を行う。

単位互換：大学間で相互に単位互換協定を結び他大学の授業を受講でき単位を取得するシステム。

共同講座：各大学の共同講座を設定し、学生に対して「共同講座」用単位を取得するシステム。

商店街とまちづくり連携：コンソーシアム参加大学生による、まちづくり活動参加への支援。

NPO・ボランティア活動との連携：NPOやボランティア活動に対し、学生によるインターンシップの一環として連携を図る。

サテライト教室：各大学の講義をサテライト教室として利用することや、光ケーブル等で結ぶことにより、各大学の講義が、この駅前ビルでいながらにして受講できる。

駅前ビルの概要は上記のとおりですが、このなかで4階フロアには市民の学習活動の拠点として「大学コンソーシアム」が開設されることになっています。現在「尾張瀬戸駅前ビルにおける大学コンソーシアム実現に向けての懇談会」が設置されて、地域と大学、行政と大学、大学相互の連携・交流について検討されています。参加が予定されている大学と主な検討事項の概略は上記のとおりです。

なお、駅前ビルに隣接して駅前広場が計画されており、バスやタクシーの乗り入れが予定されており、本学スクールバスも乗り入れできることになっています。

本学が立地する瀬戸市では、2005年開催の愛・地球博（愛知万博）に向けて都市整備をすすめています。とくに「尾張瀬戸駅地区第二種市街地再開発事業」では新しい瀬戸の玄関となる「駅前ビルづくり」を重要な位置づけとしています。このため、瀬戸市は本学の学生も参加した市民参加型の「駅前ビル検討ワーキンググループ」（座長：木村光伸本学前学長）を設置して、検討を行ってきました。このほど瀬戸市はこれらの意見をもとにした基本計画を発表しました。（このワーキンググループについては、COSMORAMA 60（2001.3）「瀬戸の顔をつくらう」（木村前学長）で紹介しています。

駅前広場



自分という存在を理解するのに、4年間という大学生活は深い洞察を与えてくれた。その洞察の結果、私たちは与えられている存在であり、生かされている存在であるのではないかとことを知る。自分の存在をどのように知ると、大学卒業を迎える今、友人や指導して下さった先生方への感謝の気持ちでいっぱいになる。一年前のクリスマスのこと。私は時間に余裕を見つけないといつものように懐中時計の音でいつかのあの研究室に遊びに行った。その教授は私を招き入れると、特製のコーヒーをこしそしてくださり、おもむろに何かチャラシをくれた。「教会に来ないか?」正確なことは覚えていない。ただ、何かを求めていた私は「はい、行きます。」と答えたのであった。思いついたら止まらない性格の私はその週の日曜日、早速その教会を訪れた。心に平安と自由が与えられたのであった。思えばこの4年間、いろいろなことに挑

戦してきた。最も大きな挑戦はまちづくりサークル「人コミュ倶楽部」において主幹を務めたことであつた。1年目のそのサークルは、何か大きな希望と夢を持っていた。We can change the world!それがみんなの口癖だった。右も左も分らない状態で、何のためでもない、ただ「何か」を求めて留まることを知らなかった。たくさんさんの友人や商店街の先輩方と共に働いた経験はかけがえのない宝物として、私の心の中に大切に残されている。

三國山でこれから始まるであろう「まちづくり」に心躍らせたあの夜のことが、タイの短期留学で知り合った親友との出会い、そして別れ、再会。信じられないような出来事の一つ一つが大きな喜びと感動を与える。この大学に入ってからと感動を。きつと卒業する学生一人一人にそんな感動を呼び起されるようなドラマがあると思う。今、私は新しい

ワールドの上に立っている。それは信仰と希望とだけ記されたワールドである。それ以外には何もない無力の障害者の私だ。覚悟はできている。それはどんな道であろうとも乗り越えようとする諦念である。人間には一人一人それぞれの「与えられたもの」が用意されていると私は思う。人生とはその「与えられたもの」を探る旅ではないか。私は卒業後、ずっと夢だったことを叶えるためにしばらく旅に出る。十分に動かせない体に不安もあるし、自信も持てない時もある。しかし私は「私の力は弱さのうちに完全に現れる」という確信に迫りたい。

最後になったが、4年間休まずに私を車で送り迎えしてくれた母に感謝したい。母の力無しには充実した学生生活はなかったであろうし、大学も卒業することは決してなかった。そしてお世話になった先生方、みんな、ありがとう。

今思うこと

～ 私にすべてを与えてくれた名古屋学院大学 ～

いまむら こうだい

今村 高大 (経済学部 経済学科4年)



人コミュ倶楽部事務所

「ハンガリー」と聞いてみなさんは何を思い浮かべるのでしょうか。私は、協力隊員としてハンガリーに派遣されることになるまで、ハンガリーに全くといっていいほど興味も関心もありませんでした。私がハンガリーと聞いて頭に浮かんだ事といえば、「ドナウ川」「ハンガリー舞曲」「ブダペシュト」。本当に何も知りませんでした。昨年7月終わりにこちらに来て、住み始めると想像していた印象と全く違っていて、とても面白いです。今も新しい発見をしては日々驚いています。ハンガリー人が持っている日本のイメージや、知っている事についても私のそれと同じでした。私の出会ったハンガリー人が真ッ先に口にしたのは、「スズキ」(ハンガリーには、大きなスズキ自動車の工場があり、大衆車としてかなりお馴染みです。鈴木という名前だったらすぐに覚えてもらえます)。「ショウケン」「ソニー」。日本語を勉強したいと言う生徒たちでも、日本について知っていることと言えば、「文字がABCじゃない」「腹切り」「ポケモン」。どんな国なのか、知らないから知りたい！と日本語のクラスを取ってくれています。最初のきっかけが何であれ興味を持ってくれたことはとてもうれしく思っています。「ショウケン、乗用車、マンガ」、偏っ

た情報を知った後に、生徒達に、また私がこれから出会うハンガリーの人達に、私は私の中にある日本の何を伝えたいのか、そしてどう伝えたいのか。とても大きなテーマですが、日々試行錯誤しながら考えていきたいと思っています。生徒たちが、本に書いてない日本を知っていきように、これを読んでくれるみなさんにも、なまのハンガリーを知ってもらえたらうれしいなと思っています。お伝えしたいことは山ほどあるのですが、今回は私が高校で日本語を教えているというところで、ハンガリーの学校(主に高校)についてお話ししたいと思います。私が住んでいるカポシュバルという町は、首都のブダペシュトから列車で3時間弱南西に下ったところにある、人口7万人の静かな中規模都市です。私が勤めるターンチユ・ミハイ高校は、生徒数約800人、教員数50人とかなり大きく、創立1803年の歴史のある学校です。ハンガリーでは、8年間の小学校の後、高校4年という形が一般的です。生徒は、朝8時から午後2時40分まで授業が続いてあり、日本のようなお昼休みはありません。授業が終わってから学校の隣にある食堂にお昼ご飯を食べに行きます。生徒も先生も途中でお腹が空いてしまうので、10〜15分の休

み時間にクッキーや果物、パンなどを食べたり、ジュースを飲んだりしています。生徒は14歳から18歳ですが、私服なので、私より随分大人っぽく見えます。日本よりも自由が多いように感じますが、その分自分で責任をとる範囲も広いように思います。高校で特徴的なのは、外国語教育です。生徒は、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ラテン語、イタリア語、ロシア語の中から2つを選択して勉強しています。日本語は今年度から選択必修の第二外国語になりましたが、それまでは自由選択の第三外国語という位置づけでしたので、2年生から4年生までの日本語クラスは7時間目が終わったあとの放課後の時間にあります。すでに2つ外国語を選択した上で、さらに日本語を勉強したいと言ってくる生徒がいます。ハンガリー語での説明がままならなかったり、失敗したりしている私ですが、生徒たちの溢れるほどの好奇心や熱心さにも励まされ、教えることを通して私の方が多くのことを学ばせてもらっています。まだまだ毎日の授業準備に追われ、自分の無力さに情けなさを感じ、焦燥感に駆られる事も多いですが、失敗しながらも生徒たちと一緒にまずは自分が楽しいと思える授業をしていきたいと思っています。



ハンガリーウォッチング ～ハンガリーの高校について～

あさの りょうこ
浅野涼子

(外国語学部英米語学科 1999年3月卒業)
(大学院外国語学研究科英語学専攻 2001年3月修了)
(JICAからハンガリーに日本語教師として派遣中)



自分の名前を習字で



にぎわうマイルポスト

カフェ&雑貨「マイルポスト」

本学学生が瀬戸市銀座商店街で経営する店舗
(愛知県「商店街インターンシップ事業」助成事業)



かわさき あやこ

川崎 綾子 (外国語学部 英米語学科4年)



そして瀬戸のお土産推奨品など、地域の特産品なども扱って、地域の方々とのつながりを大切にしています。それは、縁もゆかりもなかった私達を暖かく迎えてくれた方々への、せめてもの気持ちのあらわれです。こんなに自然に感謝の気持ちを表現できること、そんな人々に出会えたこと、そのすべてが私にとっては、初めての経験でした。これからも商店街の方々や瀬戸の街の人にかわいがってもらえるマイルポストであつたらいいなと思っています。

現在マイルポストでは、私は主にホールを担当しています。私はいろいろな人と話をするのが好きなので、お客さんとのコミュニケーションを大切にしています。一日として同じ日はありません、いつも新しい出会いがあります。いろいろな人が来て下さいますし、お客さんにはいつも元気をもらっている気がします。味わ

「エクアドルをひとつ下さい。」とお客さんがオーダーをします。「エクアドルですね、お待ち下さい。」この瞬間、私はとても幸せな気分になります。「エクアドル」とはわたしの働くMilePost(マイルポスト)で扱っているコーヒーの名前です。私は、昨年の夏にこのコーヒーの生産国である南米エクアドルを訪れました。

マイルポストのコーヒーや雑貨達の一部は、フェアトレード(公正貿易)の商品を扱っています。マイルポストがオーブンを購入する際に、フェアトレードのコーヒーを扱ってみようかという話がありました。その時に初めてフェアトレードという言葉を知り、何かに惹かれるようにして、その世界に飛び込みました。フェアトレードコーヒーは、環境NGOによる直接取引で、顔の見える貿易とも言われていますし、有機栽培や低農薬栽培をしているのが特徴です。私達の勉強の甲斐もあって、マイルポストではお客様に

安心して、おいしく飲んでいただけて、実は、大切なストーリーを持つているフェアトレードコーヒーを扱うことにしました。ストーリーとは、現地生産者の方々の想いがこめられた物語のこと。そんな、ストーリーを確かめたくて、私は、エクアドルのコーヒー豆を仕入れているNGOの方々と、エクアドルのコーヒー生産地を訪れ、生産者の方々とのお会いを重ねてきました。いることに誇りをもっていて、コーヒー豆を本場に大切に育てている様子でした。また、コーヒーの豆が赤いことや食べてみると甘いことには、とても驚かされました。そんな、感動や驚きも含めて、私の中には大切なストーリーが広がっていました。私は、フェアトレードコーヒーを強く勧めるつもりはありません。しかし、私は、エクアドルのコーヒー豆の香りが大好きです。マイルポストでは、毎日エクアドルのコーヒー生産者の方々のことを思い浮かべな

がらコーヒーをいれています。そんな香りを皆さんにも楽しんでもらいたいです。私だけでなく、現在マイルポストではそれぞれのメンバーが得意な分野を生かしながら、学生だけで運営をしています。料理が好きな学生、接客が好きな学生、バイトで得た経験を生かしている学生など10名程のスタッフがいます。

何も知らないお客さんは驚いて「えっ？学生だけでやっているの？学校は大丈夫？」などと心配される方もいらっしゃいます。しかし、てんやわんやながらも、私達は自分のできることを出し合って、楽しく働き、人間関係を考え、自分探しをしているところなんだと思っています。

マイルポストは、大学の学バスがぐるぐる鉄尾張瀬戸駅から歩いて7、8分のところにある銀座通り商店街の中にあります。近隣の方々はじめ、商店街の方々とは、家族のようなお付き合いをさせていただいています。仕入れはできる限り商店街で、

お店の名前、マイルポストの意味をご存知でしょうか？マイルポストとは「道しるべ」という意味があります。このカフェを訪れる皆さんにとって、この場所が大切な道しるべになれば、という願いを込めて命名しました。オープンしてまだ、数ヶ月、でもその願いは、少しずつだけれども、形になりつつあります。

しかし、学生だけで運営していくことは、簡単なことではありません。少しでも、多くの皆さんにこのカフェをかわいがってもらえたらなあと思います。ぜひ一度、ご来店下さい！

現代に生きる幸せ

やまだ のぞみ
山田 希
(経済学部講師)

民法という法の領域には、講学上、人の財産関係(たとえば、契約、所有権など)を規律する「財産法」と、人の身分関係(たとえば、夫婦、親子、相続など)を規律する「家族法」という、大きく分けて2つの分野がある。私の研究は主に財産法を対象としたものであるが、わが大学には民法の教員がひとりしかいないため、講義のときには、家族法も担当しなければならぬ。しかし、学生時代にあまり熱心に家族法を勉強しなかったことがたまたま、正直なところ、講義の準備には、毎回、四苦八苦している。

さて、存じの向きも多いかと思うが、現行の家族法は、戦後すぐに、新憲法の制定にあわせて全面的に改正されたものである。改正前の旧家族法は、儒教的な家父長制度に立脚しており、戸主(家長)を中心とした「家」という単位を継続・繁栄させることを主眼としていた。具体的というと、戸主となるべき長男は、「家」の財産を単独で相続し、家族を扶養する義務を負う一方で、家族の居住や結婚の自由を制限する権限(戸主権)をもっていた。この制度の下では、女性の

地位は低く抑えられており、妻は未成年者と同じく無能力者(わかりやすくいえば、一人では規模の大きな契約が結べない者)として扱われていた。「家」制度は、「個人の尊厳」と「男女平等」という新憲法の理念に反するものとして廃止されたが、法律の改正後もその名残は強く、戦後まもない頃に下された判決には、なんとも当時の時代背景を感じさせるものが多かった。たとえば、昭和30年に下された「女冥利判決」と呼ばれる有名な判決があるが、これは、今の時代こんな判決を書いたら、その裁判官は女性から袋叩きにあうに違いないというような傑作な判決である。

この判決のもとになった争いがどういうものであったのかを簡単に説明すると、女癖が極端に悪く(裁判所が認定したもののだけで、妻以外の四人の女性と関係をもっていた)、ときには暴力も振う夫に對し、それまで我慢に我慢を重ねてきた妻が、とうとう愛想を尽かして自分の実家に戻り、そのうえで、離婚を請求する訴えを起こしたというものである。裁判所は、驚くべきことに妻からの離婚請



求を拒けたわけであるが、その際の理由が、これまたすごいのである。少し長いが、適当に省略しつつ原文を引用しよう。「原告(妻)が、年齢満五十歳で、女性としては既に、その本来の使命を終り、今後は云はば余生の如きもので、今後に於て、花咲く人生は到底之を期待し得ないと考えられるのに反し、被告(夫)は、漸く令四十九歳に達したばかりで、……男子としての真の活動は、今後に於て、期待し得られる事情にある」。「斯の如き事情が認められる上に、……被告は、原告の復婚することをひたすら願って居るのであるから、原告は、この際、被告の許に復婚すべきであつて、一人我を張り、復婚を肯んぜないとすれば、それは、俗に云ふ、女妙利の尽きる仕儀であると認められても、亦、止むを得ない事情にあると認められる」。裁判官は、この説示の後で、夫が男子として真面目に活動するためには、妻の惜しめない内助の功が必要である旨を切々と説いている。個人の幸せよりも「家」の繁栄が優先された当時の風潮が偲ばれる判決である。現代に生きていて良かったと、心から思う。

私の講義日誌

2002年12月11日(水)2限
道徳教育論よじい よしのり
担当者 葛井 義憲

道徳教育論

私が本年度の秋学期に担当した科目は「キリスト教と歴史」「キリスト教と社会」「日本語表現2」「宗教学概論」「道徳教育論」「専門演習Ⅱ(経済学部)」「演習Ⅱ(同学部)の七つであった。この中から、教職科目の「道徳教育論」を選んでここに紹介しよう。



うとしたのは理由がある。一つはある程度明瞭な目的意識をもった受講生が履修していること。二つ目は、この講義が一方的に語り、聞き、ノートをとるの形態でなく、受講生が講義の中で積極的に質疑応答を行い、さらに、受講者一人ひとりが皆に伝えたいことを5分間にまとめてスピーチする、双方向・授業参加型のものであったこと。三番目は履修者が多様であったこと。受講者が2年生以上と大学院生・社会人であった。四番目は70人弱の小人数の履修者であったこと。

こうした受講者の交流を豊かにし、集中力を高めることのできる特色を備えた講義の中で、教材は教育史・教育哲学専攻の林竹二の教育実践論、政治思想史を専攻し、学生指導に懸命に携わる宮田光雄、社会の片隅に目を注ぐ文学者の灰谷健次郎、知的障害児教育に尽力する福井達雨などの実践に裏付けられた著書であった。このことからお気づき

のように、これは「小ささ」「悲しみ」「弱さ」「排斥」「差異」などをテーマとして、子どもの優しさ、鋭さ、豊かな可能性などに触れ、自分自身をおのずと問い直させる作業でもある。「灰谷健次郎の発言A2V」(岩波書店)の中に、小学校低学年の子どもの詩が載っている。少し紹介しておこう。「おかあさんはよその人にとくしんやゆわれてよろこんどく」といってとう人かて「とくしんの人がおるのにな」けつこんしている人は「とくしんになりたくて」どくしんの人は「けつこんしたがる」。「おとうさんはきょうもはやくかえつてこなかった」またあそんでい

るのかな「おかあさんはなんにもしらんかおしてる」ふうふはそれがほんとうなのです。」

この子どもの鋭さ、ユーモアを解する心に受講者が触れたとき、いかに自分はその子どものことを知らなかったか、子どもを「見くびっていたか」に愕然とさせられるのです。そしてこの子どもたち一人ひとりを

つめ、その中に蔵されている豊かな可能性を「育む」作業の一端に関わることがどんなに喜びであり、怖れであるかに気づかされていきます。それとともに、これまでの学校生活一体験した「いじめ」の辛さ、友人や教師との心温まる「良き交わり」がよみがえり、それを克服・発展させようとの気運がみなぎってきます。

受講生は語ります。「子どもというのは大人以上に繊細で、愛情を一杯注いであげないといけないことを改めて知りました。」「自分の幼さや未熟さ、情けなさを改めて感じたりした。」「私はどんな生徒の心も受けとめられる教師を理想にし、少しでも近づいでゆきたい。」「半年の講義は多様な教材に触れ、世代の違う種々の話(5分間スピーチ)に耳を傾け、問い語るうちに、一人ひとりを美しく変えてゆきます。これは日常生活と確かに結びついた所での道徳心の涵養、魂の目覚めです。」

(経済学部教授・宗教部長)



Banyuukan

万有館(ばんゆうかん)B
「そして、万物をキリストの足の下に従わせ、彼を万物の上にかしらとして教会に与えられた。この教会はキリストのからだであつて、すべてのものを、すべてのものに満ちているかたが、満ちみちているものに、ほかならない。」(エペソ人への手紙第1章22-23節)使徒パウロがエペソにある教会の人々に送った手紙の中で、神様の力によつて復活されたキリストが教会に存在することによつて、教会は神様に守られ生き生きしたものとなつていくと教えています。それと同様に、キリスト教主義教育の目標のもとに設立された本学にも神様の守りと導きが満ちていることを体感してください。



万有館と不尽館 (ばんゆうかんとうふじんかん)

麦粒苑を囲む合同教室群を形成している。万有館、不尽館は3階建て、階段3教室がある。万有館、不尽館という名称からそれぞれB1(定員500人)、B2(定員400人)、B3(定員300人)、F1(定員500人)、F2(定員400人)、F3(定員300人)教室と呼ばれている。

万有館 総延べ面積908.12㎡(1967年竣工)

不尽館 総延べ面積908.12㎡(1967年竣工)

両教室とも主として全学共通教育科目や経済学部、商学部の講義科目で利用される。また、教室の多面的利用のため、「オーディオ機器」や「情報コンセント」が配備されている。



Fujinkan

不尽館(ふじんかん)F

「すなわち、聖徒たちのうちで最も小さい者であるわたしにこの恵みが与えられたが、それは、キリストの無尽蔵の富を異邦人に宣べ伝え、更にまた、万物の造り主である神の中に世々隠されていた奥義にあずかる務がどんなものであるかを、明らかに示すためである。」(エペソ人への手紙第3章8-9節)キリスト・イエスの愛は神様の愛は何時か枯れてしまうようなものではなく、無尽蔵です。その愛によつて守られている私たちの、他の人達に対する愛も本来、無尽蔵にある筈です。出し惜しみしないで、どんどん周りの人に、特に手助けを必要としている人に分けて行きましょう。「愛隣」と同じものとして理解して下さい。



「第2回学生実態調査報告書」が完成



昨年の秋学期の履修登録期間に、今年度4月からスタートしたCCS(キャンパスコミュニケーションシステム)を利用した学生実態調査(委員長:大西成長学生部長)が実施され、「第2回学生実態調査報告書」として公表されました。学生のみならずライフスタイルや考え方が年々変化・変貌していく中で、学生のみならずの生活実態、大学に対する評価、大学への希望や要望・意見を把握し、それを大学運営に反映させるとともに、少しでも実行、実現化していくという視点にたった調査でした。

質問事項は、

- A. 大学、授業に関すること
- B. 大学生生活満足度に関すること
- C. 学内の友人や学内の動向に関すること
- D. 課外活動に関すること
- E. アルバイトに関すること
- F. 通学や食事に関すること
- G. 大学に対する要望・意見(自由回答)

調査項目が90項目を超えるものでしたが、2,638名の学生のみならずの協力が得られました。個々の質問項目では低いポイントも見られますが、回答結果全体を通して見た場合、前回(1998年)に比べてデータの意見分布を見ると学生のみならずの回答はおおむね積極的・肯定的で、徐々にですが本学の改善努力が定着してきているといえます。



体育会

ラグビー部



二年連続の屈辱…来年こそは！

東海学生ラグビーリーグは、一昨年まで中京大学と名城大学が1位、2位を占め、他の大学はその壁を越えることができませんでした。しかし、昨年のリーグ戦初日、我が名学ラグビー部は名城大学を破り、その一角を崩すことに成功しました。続く中京大戦には敗れてしまったものの、その後、愛知学院大学と名古屋商科大学を破り、上位4チームと対戦し、3勝1敗とリーグ戦中盤まで充分優勝が狙える位置につけていました。しかし、愛知工業大学と朝日大学にまさかの2連敗を喫し、最終戦は勝ったものの、最終成績4勝3敗で5位に終わりました。あと1つ勝てれば、全国地区対抗戦に出場できたという屈辱を味わいました。ところが、今年のリーグ戦も同じ屈辱を味わうこととなってしまったのです。最終成績は昨年と同じ4勝3敗。順位を1つあげて4位としたものの、あと

1つ白星が取れなくて、全国大会出場を逃してしまいました。ですが、今年のリーグ戦では歴史に残る快挙を成し遂げることができました。創部以来、リーグ戦においてはじめて、中京大学に勝つことができたのです。勝利の瞬間の喜びは言葉には変えられないものがありました。この勝利は今後リーグ戦を戦っていくうえで、選手たちには大変な自信になったことと思います。

2年連続で全国大会を逃してしまいました。悔しさは、嫌というほど心の中に刻まれています。もう同じ失敗は許されません。3度目の正直というわけではありませんが、来年こそ全国大会に出場できるようにするため、日々の練習に加え、個人練習をもっとと重ねなければなりません。ラグビーに対する姿勢を部員一人一人が正し、一致団結して来年の活動に取り組んでいきたいと思っています。

(経済学部経済学科3年 ラグビー部主将 安部 茂)

キリスト教の重要な祝祭日の一つであるイースターは、2003年は4月20日の日曜日に当たります。神様の子供としてこの世に生まれてくださった（この日がクリスマス）イエスが、私たち全人類の神様に對する罪を引き受けて（これを贖罪と言います）十字架にかかって死んでくださった（この日が13日の金曜日だったために、縁起の悪い日とされている）、3日目（その死から復活された。それを信じる）ことにより、私たちは神様に再び受け入れられるようになった。つまり、イエスは全人類の「救い主（キリスト）」であるという信仰、「キリスト教」の根源となるのがこの「イースター（復活祭）」なのです。

チャペルのかたすみで⑥

イースターについて

キリスト教センター
山田直義

「復活祭」なのです。キリスト教が成立するためにイエス様の誕生が必須条件ですが、「生まれて、生きて、死んだ」というだけなら唯の人です。「他人の罪の身代わりになつて死んだ」人も存在します。「甦つて（復活して）（私たちの罪の結果である）死を克服された」ことが大切なのです。従ってキリスト教会ではクリスマスよりも先にイースターを祝い始めましたし、今でも第一番の祝日と考えています。金曜日を中心とするイエス様の苦しみと死、心の重苦しい毎日（イースターの前の1週間を受難週と呼んで生活全体を質素にして、祈り、礼拝したりして過ごします）が夜

明けと共に、一転して喜びの日になるのです。教会や家庭では「イースター・エッグ」といって、生命のシンボルとして卵に絵や文字をあしらったものを飾ります。最近では卵形のチョコレートが市販され、中にはその空洞の中に小さな玩具や別のお菓子を入れたものまであります。クリスマスに関心のある人は、ぜひイースターにも関心を持つてください。最初に、「イースターは、2003年は」と書いたのは、この祝日は「春分の日の後の最初の満月の次の日曜日」（325年のニケヤ会議で決定）という変動制となつていて、毎年違ってくるからです。この日は旧約聖書にある「過ぎ越しの祭」の日でもあります（説明省略）。



エクステンションセンター 「シティーカレッジ2003」開講講座

① 簡単な手話でろう者と話そうよ

- 講師 斎藤澄子
- 場所 本学「さかえサテライト」
- 日時 4月18日(金)から毎週水曜日
全10回 13:00~14:30
- 受講料 無料

中国語で万博

- 講師 程 群
- 場所 本学「さかえサテライト」
- 日時 5月12日(月)から毎週火曜日
全10回 14:30~16:00
- 受講料 無料

英語で万博

- 講師 柴田里実
- 場所 本学「さかえサテライト」
- 日時 7月1日(火)から毎週火曜日
全10回 13:30~15:00 ※8月12日を除く
- 受講料 無料

ブロードバンド時代における情報活用のために ～情報社会に求められるもの～

- 講師 梶田雄夫/木下和也/星和徳
- 場所 本学「さかえサテライト」
- 日時 9月22日(月)から毎週月曜日
全3回 18:30~20:00
- 受講料 無料

お母さんのための 「お家で英語」環境作り

- 講師 赤楚治之/長友潤
- 場所 瀬戸市中央公民館
- 日時 5月16日(金)、30日(金)
全2回 10:30~12:00
- 受講料 無料

② エネルギーと環境問題を考える

- 講師 本船久雄
- 場所 本学「さかえサテライト」
- 日時 7月9日(水)から毎週水曜日
全3回 18:30~20:00
- 受講料 無料

女性のための生活経済学

- 講師 小林甲一/吉田博之/庵原孝文
- 場所 本学「さかえサテライト」
- 日時 11月7日(金)から毎週金曜日
全4回 13:30~15:00
- 受講料 無料

暮らしに役立つ法律ガイド

- 講師 山田希
- 場所 本学「さかえサテライト」
- 日時 2004年1月14日(水)から毎週水曜日
全4回 13:30~15:00
- 受講料 無料

③ 風の音楽 ～トッカータとフーガを弾こう～

- 講師 有田知子
- 場所 本学チャペル
- 日時 9月後半～12月前半のご希望日及び時間
全4回 1日1レッスン(45分間)
※土日祝、本学休日を除く
- 受講料 5,000円

ことばの不思議 ～北欧語入門～

- 講師 八島五三男
- 場所 本学「さかえサテライト」
- 日時 10月4日(土)、11日(土)
全2回 17:00~18:30
- 受講料 無料

④ 「ゴルフ」の基礎を習得する

- 講師 坪田暢光
- 場所 本学ゴルフ練習場
- 日時 10月2日(木)から毎週水曜日
全4回 14:00~16:00
- 受講料 無料

⑤ いま、よく生きるということ ～生と死をみつめて～

- 講師 葛井義章/木村光伸/今村薫/葛井康子/小枝甲一
- 場所 本学「さかえサテライト」
- 日時 5月7日(水)から毎週水曜日
全5回 15:00~16:30
- 受講料 無料



申込み・問い合わせ先

名古屋学院大学エクステンションセンター
TEL 0561-42-1096 FAX 0561-42-1097

豊富さでよく知られています。

授業が行われるクライストチャーチ教育大学は1877年に創立されましたが、以来長年に渡って教師になるためのトレーニングと機会を提供し続けてきました。現在はおおよそ3,000人のフルタイムの学生が在籍しており、その他特別な短期や長期のコースを学んでいる学生もいます。同校はクライストチャーチ市街の中心部から車で北西へ約10分、魅力的な郊外にあります。クライストチャーチは南島で最も大きな都市で、人口は350,000人を擁し、その親しみやすい人々や質の高いさまざまなスポーツ、文化施設、エキサイティングなレクリエーションの施設の豊富さでよく知られています。

クライストチャーチ・カレッジ・オブ・イングリッシュはニュージーランドで最も現代的な学校の一つです。授業はクライストチャーチ教育大学キャンパス内の英語教育用に特別にデザインされた施設を利用して行われます。緑豊かな美しいキャンパスは見晴らしがよくのびのびとした雰囲気です。二クラスあたりの人数は少ないので、学生は確実に自分の英語能力にあつたクラスできめ細かな指導を受けることができます。

授業が行われるクライストチャーチ教育大学は1877年に創立されましたが、以来長年に渡って教師になるためのトレーニングと機会を提供し続けてきました。現在はおおよそ3,000人のフルタイムの学生が在籍しており、その他特別な短期や長期のコースを学んでいる学生もいます。同校はクライストチャーチ市街の中心部から車で北西へ約10分、魅力的な郊外にあります。クライストチャーチは南島で最も大きな都市で、人口は350,000人を擁し、その親しみやすい人々や質の高いさまざまなスポーツ、文化施設、エキサイティングなレクリエーションの施設の豊富さでよく知られています。

クライストチャーチ・カレッジ・オブ・イングリッシュ (クライストチャーチ・ニュージーランド)



新たな短期留学提携校

クイーンズランド大学 (ブリスベン・オーストラリア)



クイーンズランド大学は、1910年にオーストラリアで5番目、クイーンズランド州で最初の大学として創立されました。国内全大学における研究の70%を行う名門大学団体「グループ・オブ・エイト」のメンバーです。2002年には、3つのキャンパスにある7学部32学科、その他多数のセンターや機関で、約33,000名の学生が学んでいます。

大学付属の英語教育機関(ICE)は、このクイーンズランド大学メインキャンパスにあり、1981年以来英語教育に携わってきました。語学教育の他、研修ツアー、継続専門教育、英語教師トレーニング、語学インターンシップなど、幅広いプログラムを提供しています。

大学のあるクイーンズランド州の州都ブリスベンには、亜熱帯気候の緑の多い街です。家のつくりも夏の風通しを考えた、高床式(一階が車庫、2階が住宅)というのが典型的なつくりとなっています。ゴールドコースト、モートン島など近辺にさまざまな観光地が控えています。

2002年度の動き

この1年

4 月

●春学期開始、入学式、新入学生生活オリエンテーション
[4/1] ●留学フェア [4/24]

5 月

●通信制大学院入学式 [5/3]

6 月

●第40回NGUチャペルコンサート＜演奏者：神戸松陵女子学院大学講師・明治学院オルガニスト 長谷川美穂氏＞ [6/1] ●留学生別科フィールドトリップ（知多・伊勢） [→7日まで] [6/5] ●派遣留学生帰国報告会 [6/26] ●父母会役員会・総会 [6/29]

7 月

●留学生別科修了式 [7/12] ●オープンキャンパス [7/20] ●英語教育セミナー「Task-based language teaching and classroom interaction」＜講師：プリティッシュ・コロンビア大学助教 P.A.Duff氏＞ [7/22]

8 月

●親子陶芸教室 [→4日まで] [8/3] ●オープンキャンパス [8/20] ●AO入試 体験入学 [→25日まで] [8/22] ●父母懇談会（浜松、岡山、松本） [8/24] ●父母懇談会（金沢、岐阜） [8/31]

9 月

●父母懇談会（彦根） [9/7] ●キャンパスコミュニケーションシステム見学会 [9/11] ●大学院通信課程Ⅰ期入試英語専攻 [9/15] ●留学生別科入学式 [9/17] ●大学院修士課程Ⅰ期入試 経済学専攻・英語学専攻・中国語学専攻 ●父母懇談会（本学） [9/21] ●大学院博士前期課程Ⅰ期入試 経営政策専攻 [9/28] ●春学期卒業式、秋学期開始 [9/30]

10 月

●大学院秋学期入学式 [10/4] ●高校生英語スピーチコンテスト [10/6] ●創立記念日 [10/15] ●AO入試（本学） ●編入学試験＜指定校・一般前期＞・特別入試＜外国人留学生前期＞ [10/19] ●留学生別科フィールドトリップ（白川郷・金沢） [→31日まで] [10/29]

11 月

●第38回大学祭 [→4日まで] [11/1] ●2002年度父母会卒業記念事業「登り窯」完成・贈呈・火入れ式 [11/3] ●外国語学部第4回海外事情講演会＜講師：中部日本放送報道局 松浪信治氏＞ [11/6] ●宗教講演会「福音のメッセージと音楽」＜講師：日本基督教団東神戸教会牧師 川上 哲氏＞ [11/11] ●推薦入試＜指定校・スポーツ＞ [11/16] ●スピーチコンテスト＜英語・中国語＞ [11/20] ●推薦入試＜一般＞ [11/23] ●宗教講演会「聖書の和訳史－受知出身3吉について」＜講師：日本聖書教会総主事 渡部 信氏＞ [11/26] ●中国語公開講座「日中文化交流の「逆輸入」」＜講師：南山大学外国語学部アジア学科教授 蔡 毅氏＞ [11/27] ●第41回NGUチャペルコンサート＜奏者：上野学園大学助教 小林英之氏＞ [11/30]

12 月

●手話公開講演会＜講師：草の根ろうあ者懇談会事務局次長 斎藤淳子氏＞ [12/11] ●クリスマスチャペル [12/17] ●留学生別科修了式 [12/20] ●市民クリスマス礼拝・キリスト降誕祭 [12/25]

2 月

●一般入試＜前期A方式＞ [2/1] ●一般入試＜前期A方式＞、編入学試験＜指定校後期・一般後期＞、特別入試＜外国人留学生後期・海外帰国子女・社会人＞ [2/2] ●一般入試＜前期A方式＞ [2/3] ●一般入試＜前期C方式＞ [2/4] ●大学院修士課程Ⅱ期入試 経済学専攻・英語学専攻・中国語学専攻 [2/8] ●大学院博士前期課程Ⅱ期入試 経営政策専攻 [2/15] ●大学院博士後期課程入試 経営政策専攻 [2/16] ●一般入試＜後期＞ [2/27]

3 月

●学位記授与式 [3/17]

2002年度 課外活動報告

2002年度の学生部長表彰式が、関係者出席のもと2002年12月11日第5会議室（副業館3階）において開催され、団体7クラブ、個人30名が表彰を受けた。学生部長表彰は、毎年課外活動で著しい活動をしたクラブや個人、あるいは奉仕活動を行いその貢献が顕著な団体・個人を選考し顕彰しています。表彰された団体・個人はどれも優れた成績を収めました。その中でも特筆すべきものとして、バレーボール部が東海大学バレーボールリーグ戦（一部）春季大会において、初優勝を飾ったことはこの上ない喜びです。また、英米語学科4年の佐々木満江さんを始め8名が、大学近くの知的障害者入所施設「まゆ」へ通い、歌やゲームを交えた授業を行うなど、入所者との交流を深める奉仕活動に対して、他の模範として表彰さ



れました。今後、体育会・文化会を中心として、学生諸君の更なる活躍を期待します。表彰された団体・個人は次の通りです。

課外活動成績優秀者 学生部長表彰

団体表彰

- 硬式野球部 春季新人戦……………優勝
- バレーボール部 東海地区男女バレーボールリーグ戦春季大会……………優勝
- ボクシング部 中部学生ボクシング選手権大会団体総合……………優勝
- ラグビー部 東海学生ラグビーセブンズ……………2位
- スキー部 第23回東海学生基礎スキー選手権大会 女子王座決定戦、女子団体戦……………各2位
- EISS Nagoya Intercollegiate The 42nd English Drama Festival……………12位
- 人コミュ倶楽部 瀬戸市銀座通り商店街との共創事業「（楽生の日）イベント、カフェ&雑貨「マイルポスト」など およびボランティアセンターを中心とした学生ボランティアなどの顕著な諸活動

個人表彰

- 空手道部 堀博征（経1）
- 少林拳法部 西岡真美（外4）・多田博史（外4）・藤浪照史（外3）
- ハンドボール部 安藤邦浩（経3）
- 馬術部 村井康史（経1）
- 陸上競技部 三雲秀勝（経3）
- 金魚すくい同好会 飯田貴文（外4）
- 硬式野球部 菱田啓之（経3）・立松慎史（経3）
- 日本拳法部 松田多貴（外2）・伊藤貴紀（経1）
- バレーボール部 反田光男（経4）
- ボクシング部 山本純也（経1）・伊藤剛（経3）・葛原尚久（経2）
- スキー部 白野健一（商2）・赤川裕輝（経4）・清水なぎさ（経4）・吉田深可（商4）・安藤美季（商4）
- 知的障害者入所厚生施設「まゆ」での奉仕活動 土井英也（経4）・佐々木満江（外4）・山本美花（外4）・内田憲治（経1）・大塚裕介（経1）・杉本貴洋（経1）・野坂泰弘（経1）・服部龍平（経1）

梶原寿教授が 最終講義

3月末日をもって定年退職を迎えられる梶原寿教授(外国語学部)の最終講義が1月10日(金)にB2教室において「キング牧師研究35年の我が遍歴」の演題で行われ、多くの学生や教職員が受講しました。

梶原寿先生は、1968年4月に就任され、以来35年の長きにわたり宗教学などを担当されたほか、宗教部長をはじめとして学長、理事長として大学行政に深く関わられ、大学発展のために多大なる貢献をされました。



このほか、最終講義は開講されませんでした。森田保男教授(商学部)も定年を迎えられます。両先生の本学への長年のご尽力に感謝し、今後のご健勝をお祈りいたします。

2002年度 父母会卒業記念事業 「登り窯」の設置について



2002年度父母会卒業記念事業として、「登り窯」が陶芸館敷地内に築窯されました。この登り窯は「創造窯」と名付けられ、去る11月3日には、田口利寿父母会長のほか、父母会役員、学内関係者の臨席のもと、贈呈式、火入れ式が挙行されました。この「登り窯」は、2つの焼成室をもつ、薪焼方式の連房登窯で、抹茶茶碗ですと一度に500個ほど焼くことが可能です。かつては、「焼き物の街・瀬戸」において活躍した登り窯ですが、現在ではほとんど姿を消し、大学内の設備としては非常に貴重なものです。昨年末には、陶芸部員による初めての焼成が、4日間にわたり夜を徹して行われ、ガス釜や電気釜とは違う、味わい深い作品が出来上がりました。今後は、本学学生のみならず、地域社会にも開放していく予定であり、窯業の町に位置する本学のシンボルのひとつとなるでしょう。

2002年度学位記授与式で 11名に学長表彰

●経済学部経済学科
青木順子、土井昌史、柚原里香、大塚妙子、木村敏之
●商学部商学科
鈴木淑子、川辺正二、塚本智子
●外国語学部英米語学科
谷合亜由美、八幡聖子
●外国語学部中国語学科
小林典子

2002年度卒業生、修了者数は次のとおりでした。

●学部・学科
経済学部経済学科 506名
商学部商学科 305名
外国語学部英米語学科 200名
外国語学部中国語学科 46名
●大学院
経済経営研究科経済学専攻 12名
経済政策専攻(博士前期課程) 12名
外国語研究科英語学専攻 58名
中国語学専攻 2名
通信制・英語学専攻 4名
留学生別科 12名
留學生別科 5名

2003年度 父母懇談会開催のご案内

開催日	会場
8月30日(土)	岡山(ホテルニューオカヤマ)
	浜松(浜松名鉄ホテル)
	松本(ホテルブエナビスタ)
9月13日(土)	金沢(金沢都ホテル)
	津(ホテルグリーンパーク津)
	岐阜(ホテル330グランド岐阜)
9月27日(土)	大学会場

大学歌CDを作成

2002年度大学祭(同窓会ホームカミングデー)に間に合わせるべく、大学歌「曙の空」「希望羽ばたく」のCDを作成し、同窓生に披露しました。名古屋学院大学は、1964年4月に学校法人名古屋学院に開設されました。1973年4月に法人分離され、学校法人名古屋学院大学が設立されましたが建学の歴史も、建学の精神「敬神愛人」も、そのまま継承されています。大学歌も、当然受け継がれて来ている。

間もなく大学創立40周年を迎えようとしているこの機会に、名中高を含む1887年以来120年近くの建学の歴史を考えながら、この大学歌を味わってみましょう。是非聞いてみたい。歌ってみたいと言う方はCDを無料で差し上げますので、キリスト教センター事務室まで申し出てください。



大学歌「曙の空」「希望羽ばたく」収録

2003年度 資格講座案内

学生のみならず一人一人の個性や適性に合った就職・夢を実現するために、本学「能力開発プログラム」の「環」として、下記の資格講座を用意しました。大学で学んだ学問を社会で実践する際に、最も強力な武器として活用できるものとして、より優れた実践性ある資格を低価格で提供するとともに多様なニーズに十分に応えられるバックアップ体制も整えました。

資格講座・公務員講座ガイダンスを次のとおり開催します。
4月9日(水) 13:30 C教室
(ガイダンス終了後、講座別に分かれ詳しい説明も予定しています)

■資格講座

公務員講座	通関士	日商簿記3級
TOEIC 春季コース	習得仕度講師・ディネーター2・3級対応	日商簿記2級
TOEIC 秋季コース	宅地建物取引主任者	MOUS検定Word春季コース
英検2級	法学校検定3・4級対応	MOUS検定Word秋季コース
ビジネス能力検定3級	行政書士	MOUS検定Excel春季コース
ビジネス能力検定2級	ビジネス実務法務3級	MOUS検定Excel秋季コース
秘書検定2級	ビジネス実務法務2級	色彩能力検定3級
フライトアテンダント・グランドホステス	販売士3級	色彩能力検定2級
初級システムアドミニストレータ	販売士2級	管理業務主任者
一般旅行業務取扱主任者		ホームヘルパー2級

第13回 英語・中国語 スピーチコンテスト入賞者

第13回「英語・中国語スピーチコンテスト」入賞者(12月11日開催)

英語部門

最優秀賞

志治泰行(英米2年)

優秀賞

山口里実(英米2年)

敢闘賞

林 亜美(英米3年)

中国語部門

最優秀賞

松本真奈美(上級(中国3年))

優秀賞

酒井貴代(上級(中国3年))

敢闘賞

長坂 藍(中級(中国2年))

佳作

五藤真也(初級(中国1年))

学生論文コンクール入賞者

第21回総合研究所主催「学生論文コンクール」入賞者は次のとおりでした。

佳作

石黒清一(経済4年三校ゼミ)

論文(LEFEE)

現在(経済4年三校ゼミ)

日本経済の明暗

ホームページを リニューアル

すでにご覧いただいているかと思いますが、昨年10月本学ホームページをリニューアルいたしました。本学ホームページは1995年10月に公開されてから4回目の更新となります。

ホームページの公開には昨今社会的に求められている大学情報の開示、および本学の教育活動をはじめとしてさまざまな諸活動を実現する大学広報の目的があります。今回のホームページの作成にあたってはキリスト教主義大学・名古屋学院大学らしさを前面に出し、イメージの統一を図るとともに、多くの人びと(受験生を含む)に楽しく利用してもらうため、本学としては初めて「フラッシュ(動画)」を導入しました。ご利用いただくみなさんからの意見をお待ちしております。

2003年 4月~5月 行事予定

4月

- 1日(火) 入学式「大学院・学部・留学生別科」(栄光館)
オリエンテーション・ガイダンス・履修登録(2年生以上)→4月4日(金)まで
- 2日(水) クラス別キャンパスツアー
新入生歓迎パーティー・パソコン配布→4月4日(金)まで
- 3日(木) 健康診断(新入生)→4月4日(金)まで
- 7日(月) 春学期授業開始
履修登録(新入生)→4月11日(金)まで
- 9日(水) 奨学金説明会→4月11日(金)まで
公務員・資格講座ガイダンス
TOEFL-ITP
- 22日(火) 春の留学フェア→4月24日(木)まで
- 29日(祝) 臨時開講(みどりの日)
- 中旬 新入生歓迎チャペル

5月

- 3日(土) 大学院通信教育課程入学式
- 6日(火) 臨時休講
- 7日(水) TOEFL-ITP
- 17日(土) チャペルコンサート
- 22日(木) 健康診断(2・3年)→5月23日(金)まで
- 中旬 人気雑誌リサイクル展

履修関係書類配布

401-404教室

- 3月28日(金) 06生 10:00~11:00
05生 13:30~14:30
- 3月31日(月) 04生以上
10:00~11:00

履修書類配布後に(人数制限科目事前登録)を501教室において行ってください。



表紙写真／薪焚き窯「創造窯」

2002年度父代会卒業記念事業で陶芸館敷地に設置。
昨年12月には陶芸部による初焼きが行われた。